

## 埴輪ミステリーを追って



前橋市立富士見中学校 1年4組

樋田 杏

## 動機・目的

私は、学校で夏休み前に配られた東国文化自由研究レポート募集要項を見てはっ！とした。なぜなら、兄が応募したことがあったからだ。私が小学2年生の時だった。夏休みに二回かみつけの里博物館に行き兄がレポートをまとめたのを覚えている。

私も一緒に行き、見てまわった。動物の形をした埴輪や人の形をした埴輪が沢山並んでいた。小学2年生だった私は可愛いなあ-という感想だった。

しかし、中学1年生になりよく考えてみると・・・

- ・何の為に埴輪は存在したのか？
  - ・なぜ馬の埴輪が多いのだろうか？
  - ・色々な種類の埴輪があるが、ヘアスタイルが違うのはなぜだろう？
- という疑問が浮かんできた。

埴輪を一体一体よく見ると細かい部分まで繊細に作られている。可愛い・綺麗・立派な埴輪に込められた昔の人の思いや存在した意味を知りたいと思った。

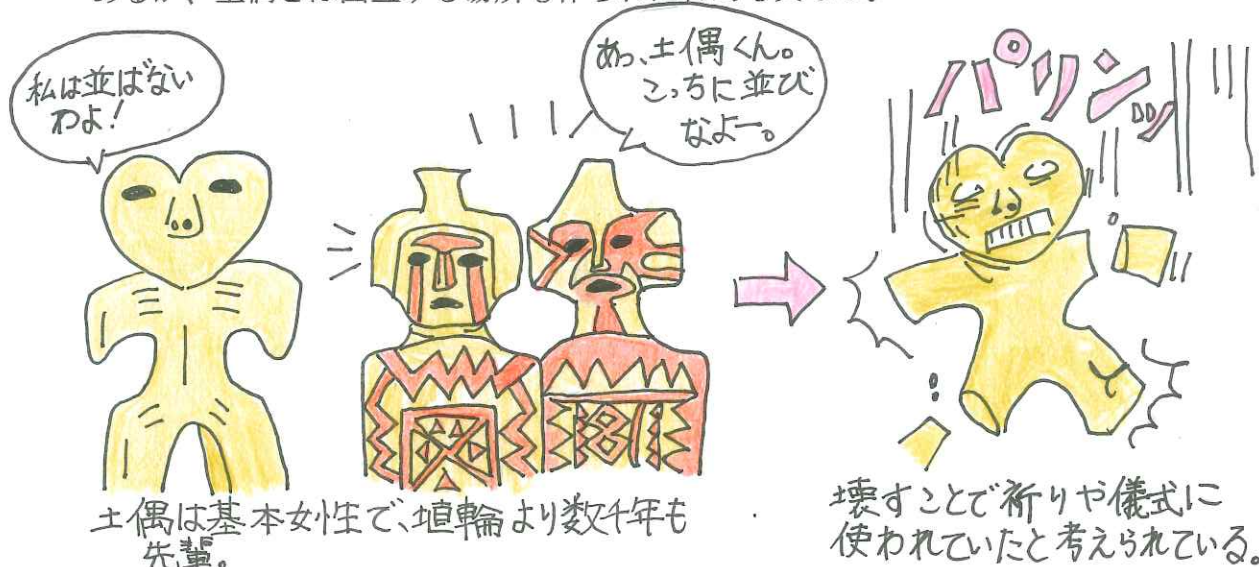
かみつけの里博物館・群馬県立歴史博物館に行き、埴輪からのメッセージを文献にて調べ、自分なりに考えたことをレポートにした。



古墳の周りに並べられている埴輪（かみつけの里博物館）

## 埴輪は何の為に作られた？

埴輪とは、古墳の上や周囲に並べられた素焼きの焼き物だった。古墳時代より前の縄文時代にも土偶という焼き物が作られ、よく埴輪と間違われたことがあるが、土偶とは出土する場所も作られた目的も異なる。



土偶は基本女性で、埴輪より数千年も先輩。

埴輪は、王の眠る古墳という聖域を守ったり、自慢の馬や武具を並べて権威をしめしたり、生前行った儀式の様子を表したりするために作られたとされている。

また、「埴輪は、王の死後、家来を生き埋めにする代わりに作られた」という話を聞いたことがある。しかし、古墳の発掘調査では家来を埋めたあとは見つかっていない。また、人物埴輪は、形象埴輪のなかでも後に登場する。このことから、埴輪の意味が忘れられた後に作られた伝説だと考えられるようになっている。

## 群馬は埴輪の質・量の多さ日本一

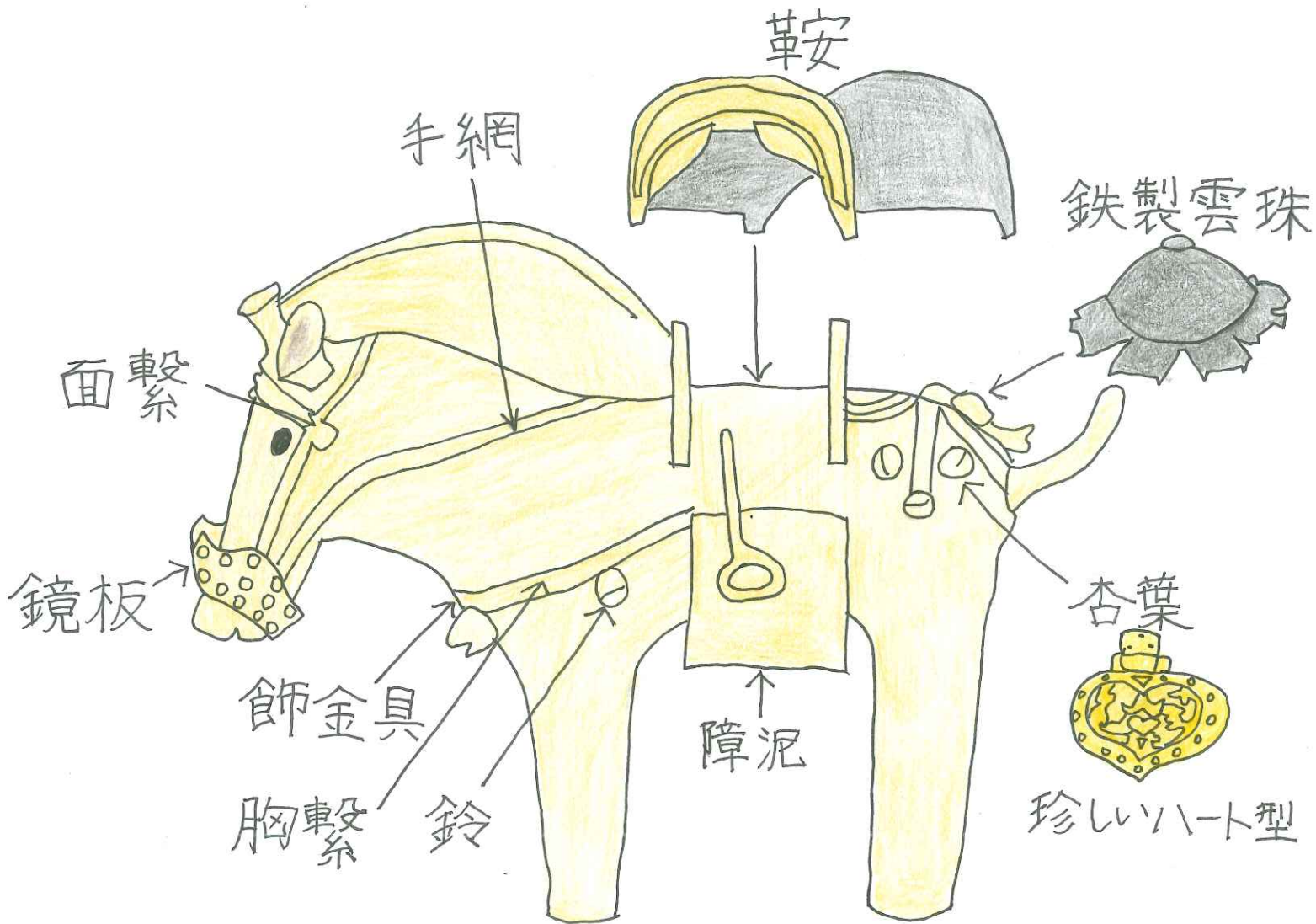
国宝及び国指定重要文化材に指定されている埴輪のうち約4割が群馬県から出土している。群馬では、勢力を持った豪族が古墳の築造に合わせて埴輪を並べていった。こうして大量の埴輪を作る技術者集団が育ち細部まで表現された質の高い埴輪を生産していたと考えられている。

はじめての国宝埴輪は群馬県産！

武人埴輪の全身像で高さ1.31m。



# 馬形埴輪



馬形埴輪は財力の証・なぜ群馬!?

古墳時代、馬は大陸からやってきた最先端の移動手段であり、古代人にとって大きな財産だった。

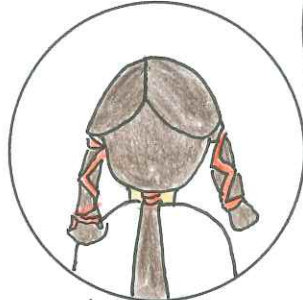
群馬県内の古墳時代の遺跡から多くの馬の足跡が見つかっている。このことから、群馬では、馬の生産が盛んだったことが分かる。だから「群馬」なのかもしれない。

## ヘアスタイル

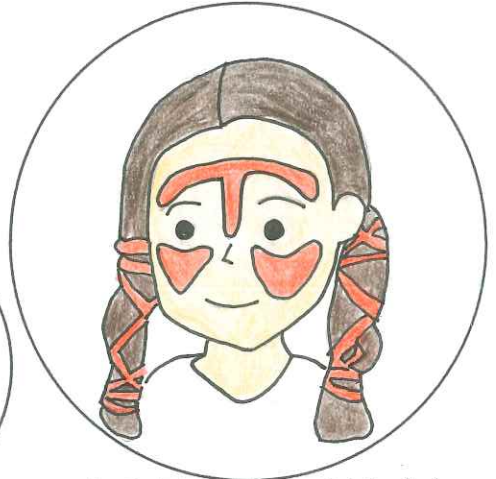
古墳時代の定番ヘアスタイルは男性も女性もロングヘアー！

### 下げ美豆良

王様などの上位の男性は、真ん中分けした髪を耳の脇で束ねて垂らす。



後ろ姿



ひもの結び方がポイント！

### 上げ美豆良

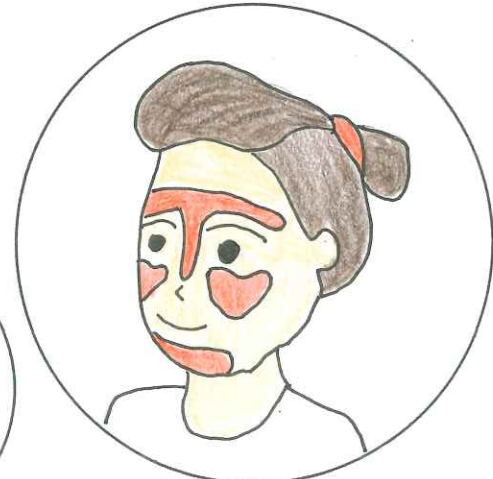
下位の男性は、耳の脇で折り返してまとめる。



コンパクトで動きやすい！

### 古墳島田

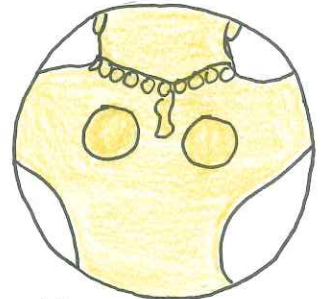
女性の髪型。再現するとかなり長い髪だったことがわかる。



ボリュームでカッコいい！

〈国宝〉

耳飾り・首飾り・うで車輪  
をたくさんつけるわよ!



背中に2個  
ずつ鏡が!

### 三人童女

- ・一つの台座に、正座した3人の巫女。
- ・体の前で手を合わせ、手の平面に一本の弦が表現されている。
- ・この埴輪は、弓の弦を鳴らして邪気を払う儀礼を表現したもの。

〈国宝〉



気品がただよう横姿



後姿

- ・正座をして、体の前面で祭具を捧げ持つ姿を表現したもの。
- ・王に仕える忠誠心がうかがえる。
- ・フワッと広がるスカートラインが優雅。
- 男子像は、あぐらをかく。男女で座り方が異なる。

正座し祭具を捧げる巫女

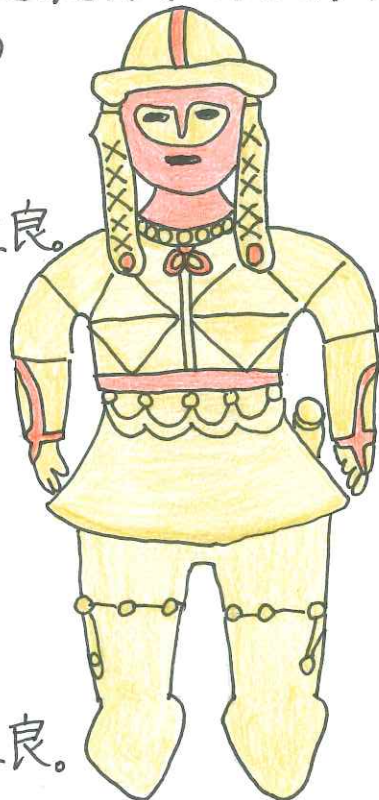
★男子双脚立像(カシ)



- ・服装は、ふんどし。
- ・手が前方にのびている。
- ・相撲の姿勢をしている?

★盛装男子? 双脚立像

- ・おしゃれなつば付きの帽子。
- ・ヘアスタイルは、下げ美豆良。
- ・アクセサリは、首飾り、鈴付きの帯、大刀。



★鳥を腕に据える男子



- ・おしゃれなつば付きの帽子。
- ・ヘアスタイルは、下げ美豆良。
- ・アクセサリは、首飾り、腰には鞆とエサ袋。

★椅子に座る男子(中心人物)

- ・ギザギザの王冠は、最高位の人物である証。
- ・ヘアスタイルは、下げ美豆良。
- ・アクセサリは、冠、帯、首飾り、大刀。



## 感想

「埴輪からのメッセージを想像する」と面白い！今回調べて実感した。また色々な発見や学びがあると思った。

群馬県というだけあって、馬の埴輪の出土数が多いと知ることができた。

古墳時代は、男性も女性も長い髪をひもやリボンで結び綺麗にしばっていたのにビックリした。たま、身分によっても髪型に違いがあるのも調べてわかった。私は、髪を三つ編みにする事があるが、古墳時代の人々も長い髪を結っていたと知り嬉しくなった。

男性埴輪は、かぶりもの（帽子や冠）をかぶっているものが多い。身分の差の他、目的に合わせて帽子をかぶっていたと考えられる。

注目のアクセサリー！髪飾り、耳飾り、首飾り、腕輪、冠、帽子、籠手、帯、太刀。古代人は、アクセサリー好きだ。出土された実物のアクセサリーを実際に見たが本当に繊細な作りできらびやかだった。

古代人の身だしなみに対する気配りは、想像をはるかに超えていた。外見だけでなく生活のしやすさも考えられている。埴輪を調べる事で学んだ。現代を生きる私達のファッションは、古代の人々から受け継がれ更に進化したものではないかと私は思った。

「埴輪からのメッセージを想像する」これが面白い。

まだ見ていない埴輪は沢山あるので、埴輪ミステリーを追ってまた会いに行きたいと思う。

## 参考文献

- ・HANI-本 群馬県
- ・東国文化副読本 群馬県